

現地幼稚園の生活

新米ママへのメッセージ

ベルギーでは1月から12月生まれの子が同級生として2歳半になると入園でき、9月から翌年6月までの期間を共に過ごします。日本のように制服やかばんはありません。皆自由に必要な物を用意します。

【1日のおよそのスケジュール】

(時間は目安です)

<午前>

9h登園

朝の活動(出欠確認、歌、工作など)

11h30~12h昼食(お弁当または給食)

<午後>

12h30昼寝(年少組以下、希望すれば年中組も可)

13h30屋外遊び(雨の日は屋内遊び)

15h30お迎え



水曜日は午前のみで終了となり、昼食は食べずに帰ってきます。プチポワスタッフの子どもが通っている園では、お弁当の代わりに10時くらいにおやつを食べています。

低学年は、定期的にトイレの時間が設けられています。多くの幼稚園ではトイレの便座がないことに、日本人の親はびっくりしますが、それも少しすれば慣れてしまうので不思議なものです。基本的にオムツが外れていることが前提のベルギーの幼稚園ですが、園によってお昼寝時はオムツ着用をし、様子を見てはずすなど細かなルールが異なりますので、不安な方は入園前の見学の際に聞いてみるといいでしょう。

【活動例】

工作、料理(クッキー、パン、ケーキなど)、ジムナスティック(週に1回、体操や球技など)、水泳(週1回程度：学年によって実施なし)など様々な活動が予定されています。

<ベルギーならではの季節の工作>

カーニバル、イースター、サンニコラなど、季節の行事にあわせた工作をし、持ち帰ってきます。お迎えに来たお父さんやお母さんに誇らしげに作品を渡す子どもたちのキラキラした目は、国が違えどどこも同じですね。

<bonhomme / mannekeで発達チェック>

人物の絵を定期的に描かせ、子どもの発達状況をチェックしています。2歳半頃では、まだくしゃくしゃとした殴り描きからはじまり、だんだんと丸の中に目や口らしき点を描く、頭や足を描く、胴体を描くといった具合に少しずつ全体をとらえるようになっていくようです。通園後、初の年度末に<bonhomme / manneke>と書かれたファイルを渡されたときは何のためのファイルだろう、と不思議に思ったもので



プチポワに「現地幼稚園はどんなところ?」と疑問の声が届きました。そこで、プチポワスタッフの経験から、園生活をほんの少しですがご紹介します。

す。日本でもきっとお絵描きの時間にそういったことをチェックしているのでしょうか。

<誕生日はみんなで祝い>

誕生日をとっても大切にしているベルギー。当日は幼稚園にケーキを持参し、みんなに祝ってもらいます。日本とは違い、自分からみんなに振舞うのが習慣で、大人になっても変わりません。園によっては毎月決められた日にお誕生会を開催したり、誕生日毎にお祝いしたりと様々ですが、本人はもちろん、クラスメイトもケーキやフルーツを食べられるちょっと特別な日なのです。

<カーニバルで春を祝う>

カーニバル休暇前になると、どこのスーパーにも可愛らしい衣装が所狭しと並びます。蝶やミツバチ、妖精、魔法使い、ピエロなどのオーソドックスな衣装から、プリンセスやヒーローなど現代的な衣装の子も。先生たちも仮装し冬が去ったよ、春が来るよとダンスをしたり、パレードをしておやつを食べたりと、園内は朝から大盛り上がりです。

<クラスのマスコットと過ごす一週間>

クラスのマスコット人形(ぬいぐるみ)を持ち帰り、1週間ともに過ごします。そして、1週間の出来事を写真と共に簡単な日記に書いて提出します。子どもたちは、一緒にお出かけしたり、夜の寝かしつけやお風呂などかいがいしく世話をします。もちろん幼稚園児が日記を書くことは困難ですので、必然的に親の(フランス語やオランダ語の)宿題となるのですが。

<朝食会で交流>

朝食を持ち寄って子どもたちと一緒に食べる朝食会(déjeuner / ontbijt)は、普段なかなか話すことのできない、他の父兄や先生とコミュニケーションがとれる貴重な時間。教室に飾ってある制作物をみたり、子どもたちが遊ぶ姿を見ながら朝食をとります。



<発表会>

学年末の5月~6月ごろ保護者を招いて各クラスがダンスを披露。発表後は父兄による食事の販売や、アトラクションが用意されており、発表の緊張から解放された子どもたちがのびのびと遊び回ります。

<お泊まり保育>

卒園間際の6月に、3泊程度のお泊まり保育があり、参加するかは各家庭にゆだねられます。宿泊数が長いので、日本人家族は参加しない家族も多いようですが、小学校進学前の一大イベントであることに間違いありません。毎年お泊り保育をする幼稚園もあります。

その他にも、紹介しきれないくらい日本とは違うベルギーの幼稚園での生活ではありますが、少しは雰囲気を知って頂けたでしょうか? 入園を検討される際には、学校施設を見学してみてくださいね。